

※印刷できない場合は、別の紙や自由帳の紙を使ってかきましよう。おわったら、その紙を教科書にはさんでおきます。(先生が後で集めます。)

「想像のつばさを広げて—名前でアート—」

- ① 教科書(図画工作5・6下)8、9ページをよく読みましよう。しっかりと読んだら、わくの中にOを書きましよう。
- ② 教科書9ページの「名前でアート」という作品を見てください。
- ③ では、教科書の作品を参考に、ローマ字で書いた自分の名前をつかって、「名前でアート」をかきましよう。下の「進め方」をよく読みましよう。紙は縦長、横長どちらでもいいです。

進め方

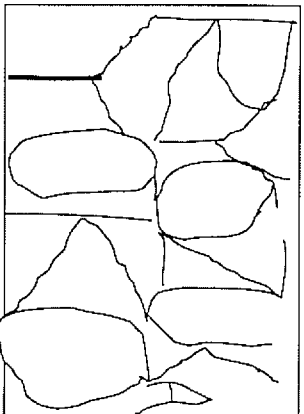
- (1) ローマ字同士が接するように、画面いっぱいになん筆で自分の名前を書きましよう。  
注意：ローマ字で書いた自分の名前を分割する(区切る)ようにかく。
- (2) ローマ字を太くする。
- (3) ローマ字やローマ字を書いた事によって分割された(区切られた)部分をそれぞれ、色えんぴつで色や形をくふうして仕上げよう。文字の中もくふうする。

★色は2色、3色重ねたり、うすくぬったり、こくぬったりしてくふうましよう。部分的にクレパスを使ってもいいです。

★黒の名前ペンは使ってもいいです。(黒ペンだけで仕上げません。)

★作品のうらに学年・組・名前を書きましよう。

- (例) (1) ローマ字同士が接するようにかく。 (2) 文字を太くする。

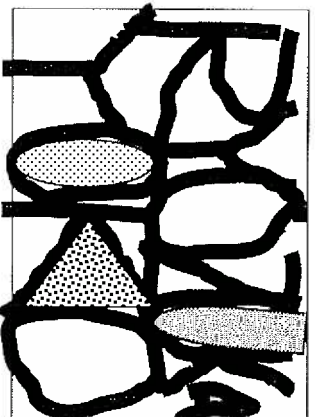


→ RYOZUKA  
YOKKO

太くするとは、このような感じです。

文字の中も色をぬれるようにしましよう。

- (3) 線で区切られた部分に、色えんぴつで、色や形をくふうしなから、画用紙の白がのこらないようにしましよう。また、ここでは黒ですが、太くかいた文字の中も、色や形のくふうをしましよう。



→ 完成。

- ④ それでは、文字を太くする練習をしましよう。

自分の名前をローマ字でかきましよう。(例) の(2)のように文字を太くして、文字の中を色えんぴつでぬりましよう。

- ⑤ これで、**5** **6**の学習はおわりです。この紙は大切ですので、教科書にはさんでおきましよう。

No.3 「リコーダーを演奏しよう」

5月18日(月)

この用紙をプリントできない人は、ノートや紙に名前を書いて使いましょう。課題をやったら、口に  
☑をつけましよう。

★始める前にリコーダーを用意しましよう。

- ① 教科書 18. 19ページを開きます。「ラバーヌコンチエルト」の楽譜は 4 段ずつまど   
まっていますね。そのまどまりの一番上の段①（全部で 4 段あります）に階名（ドレミ）  
を音符の下に書きましよう。「シ」は全部「レ」（フラット）になります。  
※階名が分かりにくい人は、教科書の 84 ページ、85 ページを見て書きましよう。

- ② 階名を書いたら、小さな音でリコーダーで演奏しましよう。    
できるところまで頑張って演奏してみましよう。  
「シレ」の指使いは、85 ページの上に書いてあります。

♪今日の学習はこれでおわりです。

この用紙は、教科書にはさんでおいてください。

# 外国語 1(1) 6年 組

◎英語を書く練習をする前に、ローア字の復習をしましょう。

ローア字と英語は違うところも多いのですが、英語に慣れたり、英語を覚えたりする助けにはなると思います。

ローア字は、<sup>母音</sup>母音(a.i.u.e.o)と子音<sup>声母</sup>(k.s.t.n.m.y.r.w ...等)を組み合わせればよいのでしたね。難しくありません。

わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
wa	ra	ya	ma	ha	na	ta	sa	ka	a
	り		み	ひ	に	*ち	*し	き	い
	ri		mi	hi	ni	chi	shi	ki	i
	る	ゆ	む	ふ	ぬ	*つ	す	く	う
	ru	yu	mu	hu	nu	tsu	su	ku	u
	れ		め	へ	ね	て	せ	け	え
	re		me	he	ne	te	se	ke	e
	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お
	ro	yo	mo	ho	no	to	so	ko	o

母音 (a,i,u,e,o) と子音 (k,s,t,n,h,n,y,r,w ...) を組み合わせればよいのですが、\*印の音は、注意が必要です。

例えば、「し」のつもので「si」と書いても、欧米<sup>欧米</sup>の人は、「rsi」に近い発音をします。

同様に「ti」は「テi」、「tu」は「トu」、「zi」は「ズi」、「di」は「デi」、「du」は「ドi」に近い発音になります。

たとえば「土屋」さんが自分の名前を「Tutuya」と書いたら、欧米の人には、「トウテヤ」としか読めません。

ば	ぱ	だ	ざ	が
ba	pa	da	za	ga
び	ぴ	*ぢ	*じ	ぎ
bi	pi	ji	ji	gi
ぶ	ぷ	*づ	ず	ぐ
bu	pu	zu	zu	gu
べ	ぺ	で	ぜ	げ
be	pe	de	ze	ge
ぼ	ぽ	ど	ぞ	ご
bo	po	do	zo	go

◎では 裏の用紙に 早速ローア字で書いてみましょう。

◎うすい文字をなぞってから、下に同じように書きましょう。

こくご

さんすう

\*ローマ字では、のばすきの母音の上に「ー」や「^」を付けて、表します。でも、パソコンなどで打つときは、( )のように打ちます。

こくご

さんすう

りか

しゃかい

\*「しゃ」は、「し」の「s」の後に「ya」を付けると読えますよ。

おんがく

りか

しゃかい

おんがく

ずこう

そうごう

がつきゆう

\*ちいさいな「つ」は、次に来る子音(ここでは「k」)を2度書きます。

ずこう

そうごう

がつきゆう

えんぴつ

\*「つ」ではなく「tsu」でしたね。

けしごむ

\*「し」ではなく「shi」でしたね。

ノート

えんぴつ

けしごむ

ノート

# 外国語 1 (2) 6年 組

ローマ字は、英語に慣れたり、英語を覚えたりする助けにはなりますが、違うところもたくさんあります。

小文字

abcdefghijklmnopqrstuvwxyz

大文字

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

◎英語で書いてみましょう。うすい字をなぞった後、右側に練習しましょう。

英語

\*ローマ字読みだと「エンゲル」の「シュ」になりそうですが、もちろん「インゲル」の「シュ」です。  
国や人の名前るときは、はじめの文字を大文字で大文字で書きます。

Engel

国語

\*「日本語」という意味ですね。

日本語

算数

九九

理科

\*「サイエンス」というのは、よく聞く言葉ですね。

Science

社会

\*最近よく聞く「ソーシャル・チアスタンス」の「ソーシャル」です。

Social Studies

音楽

Music

# 図工

illustration

# 学級

classroom

# えんぴつ

pencil

# 消しゴム

\*これも「English(イソグ)」と同じ、「e」からはじめて「イ」で発音します。また、「r」のあとの「o」は、「P」ではなくて、「I」で発音します。

eraser

# ノート

\*ただ「note」と書くと、「記録」や「メモ」といった意味になります。

notebook

# はさみ

\*「ロツク シザーズ ペーパー」の「シザーズ」です。

scissors

# 定規

ruler

# のり

\*「コピー マシナ ペースト」などと書きますね。この「o」も、「I」で発音します。

paste

# 教科書

textbook

\*ローマ字と似ているところもありますが、違うところもたくさんありますね。

# マスクを作ってみよう2 6年 組

おわてび

前回のプリント、中途半端なところで終わってしまっって、申し訳ありません。この頁と、裏の前半は、アイロンを使うので、前回のプリントに入れておけば保護者の方の手が空いている時間にできましたものを、申し訳ありません。

「家庭学習プログラム」の時間枠とずれてかまいませんので、保護者の方のお手すきの時間にお手伝いいただければと思います。よろしくお願いいたします。

\*このページの工程は、アイロンを使います。

**必ず家の人にやっていただくか、家の人と一緒にやってください。**

⑥裏返した筒状の布を、縫い目に沿って、しっかりとアイロンで押さええます。

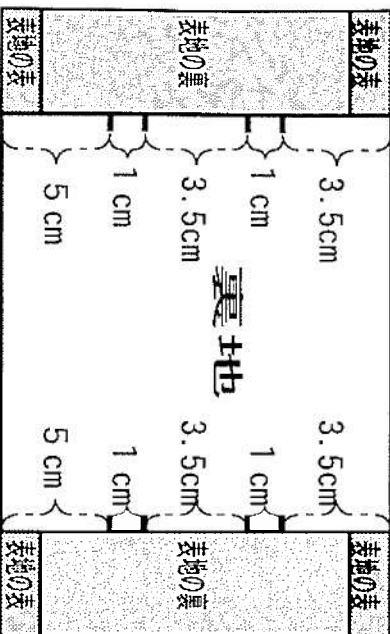
\*お家の人と！



このページを含めて、後3枚で完成です。  
2時間枠の設定ですが、活動の区切れ目は、特に作りませんでした。  
それぞれのご家庭のご都合に合わせて、取り組んでみてください。

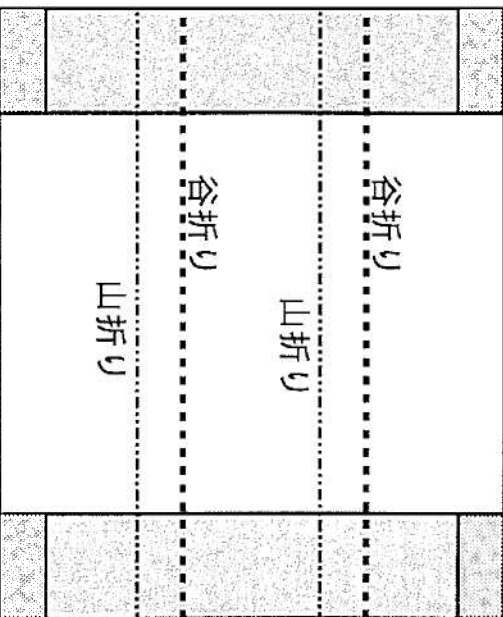
マスクのグリーツ(ひだ)を作っていきます。

⑦およそ下図のような寸法で印を付けます。



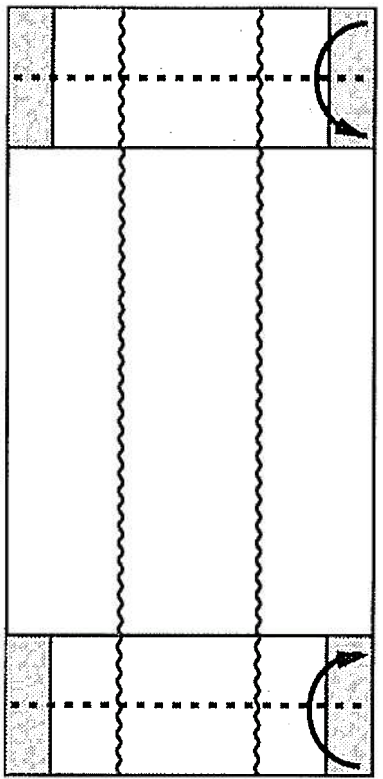
\*グリーツ(ひだ)の幅や数は、この通りでなくてもよいです。

⑧印に沿って、谷・折りに折って、アイロンで押さええます。 \*お家の人と！

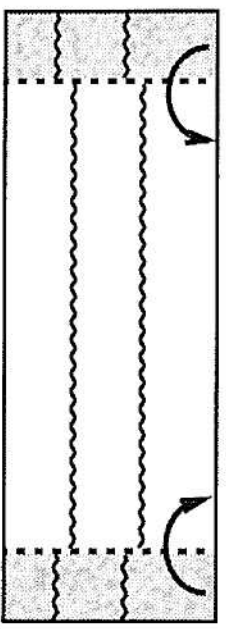


\*本来なら、ここでまち針を打ったり、ミシンで縫に縫ったりした方がやりやすいかとも思うのですが、このプリントの説明では、そうしてありません。お家の方と作る場合は、そうしてもらってもかまいません。

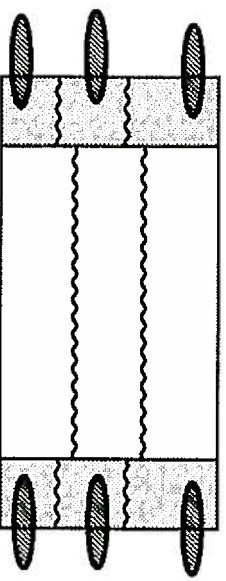
⑨裏地の両端に出ている表地の部分を半分に折って、しっかりアイロンで押さえます。  
\* お家の人と！



⑩上で折って二重になった表地を、裏地の上に折り倒します。  
そして、しっかりとアイロンで押さえます。\* お家の人と！

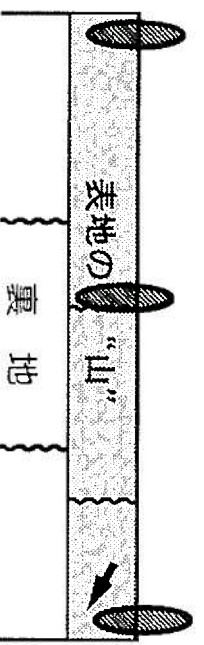


⑪折り返したところが戻らないように、洗濯ばさみで留めておきます。

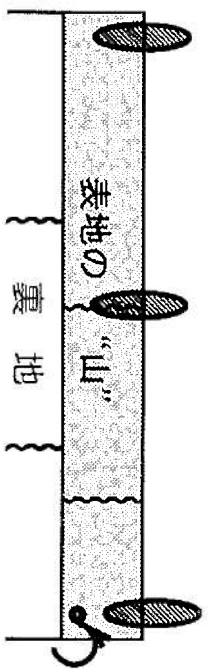


\* お家の人と一緒に作るときは、もちろんまち針を使ってもよいです。

表地の“山”と、裏地を「まつり縫い」で縫い合わせていきます。  
～ここから、マスクの図を90°回転させて示します～

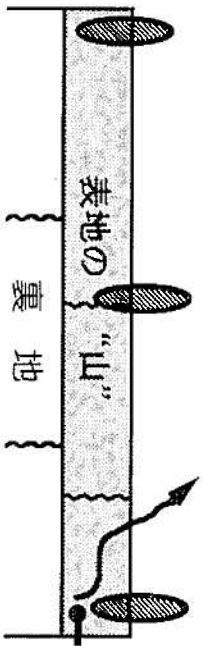


⑫表地の端から1mm程度の所(左図の▲の所)に針を刺し、下に抜きます。

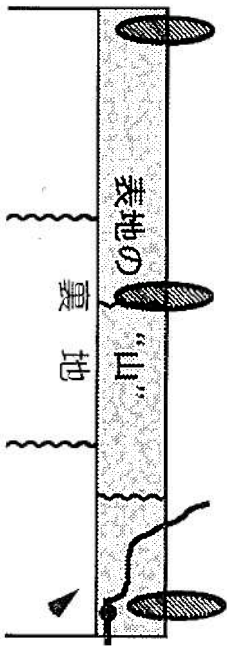


⑬下に抜いた針を、また上から(最初に針を刺した辺りに)刺して、そのまま下に抜きます。

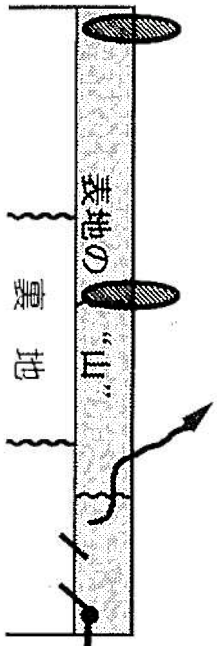




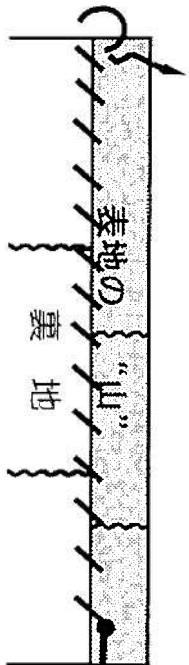
⑭下に抜いた針を、今度は、裏地と表地の“山”の間から入れ、表地の山の上に抜きます。



⑮上に出た針を、▼ の方向から、裏地だけを1mmほどすくって、そのまま表地の“山”の下から刺して、上に抜きます。



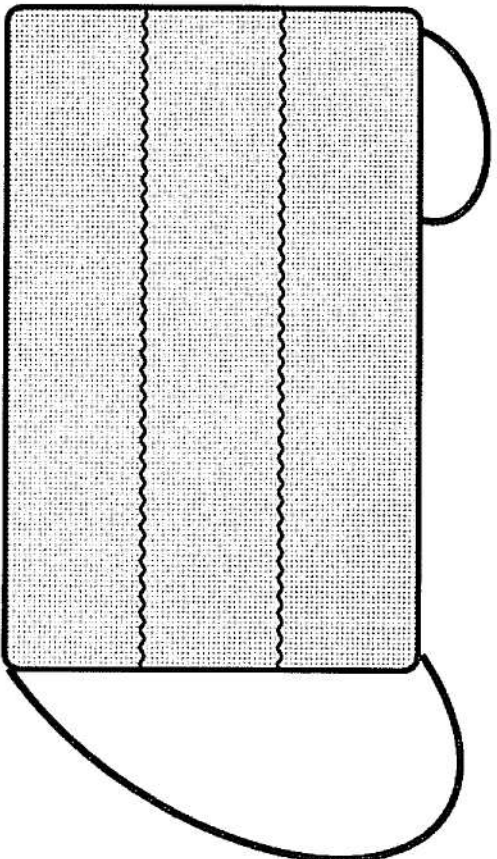
⑯と同様に、裏地を1mmほどすくって表地の“山”の上に出し、これを繰り返します。  
\*縫った所は、洗濯ばさみ(まち針)を外していきます。



⑰最後まで縫い終わったら、糸を横から回し、下から(表地の方から)針を刺して、表地の“山”の上に出し、玉留めをします。

⑱反対側も、同じように表地と裏地を縫っていきます。

⑲最後に、今縫ってきた部分にゴムを通して、輪に結べばマスクの完成です!!



◎針1本で、できるだけ簡単にと思って紹介してきましたが、どうでしょう?  
できましたか? 説明かわかりにくかったら、ごめんなさい。

◎最後に、使った針の片付けを確認して、終わりにしましょう。お疲れ様でした。

\*保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。